

平成26年度第2回競技委員会

平成27年1月16・18日(金・土)

愛知県・名古屋市(ルブラ王山)

出席者…釜井、池田(博)、根岸、伊勢、村田、市ヶ谷
松本、安藤、恒松、豊田、本間

1・部長挨拶(釜井部長)

2. 第39回全国高等学校選抜大会(奈良県)

進捗状況について

- ・期日、会場、諸会議日程等の説明あり
- ・参加申込みの方法は、秋田と同じHPからダウンロードする形式。申込期限が1月28日(水)となっているため、デジタルデータを先に推薦校は送って欲しい(資格審査が間に合わないため)
- ・宿泊は、JTBに依頼している
- ・プログラムの無償配付は、前年の秋田と同じ数を配付する
- ・開閉開式は、できるだけ簡素化したい。式典関係の確認を行う
- ・競技会場については、10ピスト展開を予定しているが3・4・7・8ピストを台ピストで考えている。ただ通常ピストよりも長いため、後ろの壁が近くなり危険になることが考えられる。9ピスト展開も検討している。10ピストで会場を作り、前日に部長が確認し、危険であれば9ピストに変更する。
- ・会場内に掲示する部旗の設置制限をかける場所を設定する予定
- ・選手待機所は、競技場外に設置(アリーナを出た廊下の一部)
- ・一般観客席は、選手が使っても良いが、荷物は置かせないようにする
- ・諸会議は、二階の会議室で行う。
- ・用具検査の預り証と不合格証は、2009年奈良インターハイで使用したものを利用する
- ・販売用プログラムには、チーム写真を掲載したい。大会予算が少ないため、売り上げで補填したい。販売部数を上げるための措置としたい。
→事務局の仕事が増えるが、その点を踏まえ実施であれば可。承認
- ・宿泊は、橿原市内の宿舎が不足しているため、近郊に振る予定。
- ・競技役員は2月の常任委員会で、審判の不足分は恒松先生に依頼する
- ・医師の常駐は必要か?全国高体連で紹介してもらえないか?
→釜井が調整する
- ・駐車場はテニスコート脇と第二体育館側の林の中を考えている
- ・1月の競技委員会の開催時期を早めることはできないか?実施要項を競技委員会で確認すると、HPにアップする時間がギリギリになってしまうため
→競技委員会は、競技について最終確認する場なので時期を早めることはできない。実施要項については、夏の常任委員会で確認できるようにしたい(来年度以降の課題とする)

3. 平成 27 年度全国高等学校総合体育大会(奈良県)

進捗状況について

- ・実施要項の日程、会場、競技、会議等を確認
- ・申込期限 6 月 25 日(木)になる
- ・参加料が変更になる
- ・プログラム編成会議は、7 月 2・3 日(木・金)の 2 日間をかけて実施する
- ・開会式は、桜井市中央公民館で行う
- ・競技開始は、9:00 になる。遠くに配宿される学校のために朝食時間を早める等の措置を宿舎にお願いしている
- ・競技会場の体育館の部屋数が不足しているので屋外に仮設を設置して対応する
- ・用具検査は柔道場、預かった荷物置き場を剣道場とする
- ・競技会場の空調は外付けとなる
- よく冷えるように調整して欲しい
- ・練習会場は使用できる日程が異なっている
- ・宿舎は奈良市内、大阪(難波、日本橋)、三重(伊賀)に振ることになりそう。桜井駅と競技会場間のシャトルバスを用意する予定

4. 第 40 回度全国高等学校選抜大会(山口県)

- ・日程、会場等進捗状況について説明あり
- ・実施要項は夏の常任委員会に用意する。

5. 平成 28 年度全国高等学校総合体育大会(山口県)

- ・会場、期日等進捗状況について説明あり

6. マスクの規定変更について

- ・日本協会からレオンボール社製のマスクは、レオンボール社製第二バンドを付けなければ使用できないとする通達があった

7. 選抜大会種目学校対抗戦の導入について

【原案説明】

- ・たたき台 3 案が提示される。この中で第 2 案を中心に検討し、3 年後くらいを目途に実施を考えているとの説明があった。
- ・プール戦、2 分ゲームを廃止する。

《意見交換》

- ・フェンシング専門部として、三種目とも同レベルに引き上げる方向で進むべきではないか。
- ・出場枠のブロック割原案は、平等性に欠けているのではないか。
- ・将来的には、三種目とも 16 チームの参加とすることが望ましい。
- ・ブロックごとの実情が異なるので、単純に配分率で割り振りを考えるのはどうか。

- ・ まずは、三種目の団体戦導入の方向性を示し、細部は時間をかけて検討する方向で良いのではないか。
 - ・ 都道府県の種目実施実情調査をしてはどうか。
 - ・ 実情をつかむことは大切だが、それによって導入時期がどんどん遅くなってしまわないので得策ではないと思われる。
 - ・ 都道府県予選、ブロック予選を考えると期限をきちんと決めないと、地方が困ることになるので、きちんと枠組みを作って出すべき。
 - ・ 大きな枠組みを全国委員会に提案し、承認を得る必要があるのでは。
 - ・ 底辺をどう考えるのかも高体連フェンシング専門部の課題では。
 - ・ 選抜大会の競技方法を考え直してみるのはいかがでしょうか。現在の学校対抗を個人対抗に変更するのも一案である。
 - ・ 選抜大会をエペ・サーブルだけの学校対抗戦にするのはいかがでしょうか。
- ※本日出された意見を参考に種目検討委員会で練ってもらい、2月の常任委員会に提案してもらう。